クラシックのテクニックをベースに、洋楽のアーティストのカバーで人気を博している

1996QUARTET

日本中が熱狂したビートルズ来日の年「1966」をカルテット名の冠にし、クラシックのテクニックをベースに、ビートルズをはじめとする洋楽アーティストのカバーを演奏するクラシカル・ユニット “1996 カルテット”「ヴァイオリン」「チェロ」「ピアノ」という３つの楽器で、クラシックの上品なイメージを破るロック・スピリッツ溢れるパフォーマンスが、高く評価されている。是非、この機会にお楽しみください。

✿✿✿✿✿ ✿✿✿✿✿ ✿✿✿✿✿ *楽曲案* ✿✿✿✿✿ ✿✿✿✿✿ ✿✿✿✿✿

♪ヘイ・ジュード
♪レット・イット・ビー
♪イエスタディ
♪ハロー・グッバイ
♪ボーン・トゥ・ラブ・ユー
♪ノルウェイの森
♪ヴィヴァルディ／四季より「夏」
♪ショパン／ワルツ華麗なる円舞曲
♪すぎやまこういち／
　ドラゴンクエスト「序曲」
♪モルダウ（「わが祖国」）
♪アヴェ・マリア　　他

※一行人数５名～、１ステージ９０分

✿✿✿✿✿ ✿✿✿✿✿ ✿✿✿✿✿ ✿✿✿✿✿ ✿✿✿✿✿ ✿✿✿✿✿ ✿✿✿✿✿ ✿✿✿

※詳しい内容は、（有）アプローズ・ケイ（０９６－３５１－６７９９）まで御問い合わせ下さい。

～１９９６ＱＵＡＲＴＥＴ（カルテット） プロフィール～

松浦梨沙（ヴァイオリン、リーダー）、花井悠希（ヴァイオリン）、伊藤利英子（チェロ）、増田みのり（ピアノ）によるクラシックのテクニックをベースに、洋楽アーティストのカバーをする「女性カルテット」。

2010 年、11 月、「ノルウェーの森 ～ザ・ビートルズ・クラシックス」で、日本コロムビアよりＣＤデビュー。王子ホールでデビュー・リサイタルを開催。
クイーンおよび、マイケル･ジャクソンのカバーアルバム（2011 年および 2012 年）を発売後、ビートルズへと原点回帰した「HELP！」（2013 年）、英国ロンドンのアビイ･ロード･スタジオで録音を敢行した「アビイ・ロード・ソナタ」（2014 年）をリリース。
リヴァプールのキャヴァーン・クラブでのライヴも好評を博した。

2019 年、3 月、自身たちでアレンジした UK Rock の名曲たちをカバーした、初のライヴ盤「女王陛下のリクエスト」をリリース。

2021 年、キングレコード移籍を発表、ニューアルバム「DIAMONDS」を発売。
全国各地でのコンサート活動を精力的に繰り広げる。

2023 年、1 月、フランス・パリのコンサートホール「Salle Pleyel」にて開催された世界的ファッションブランドの KENZO の 2023-’24 年秋冬ウィメンズ＆メンズコレクションにて、The Beatles の楽曲を演奏し好評を博す。

2025 年、デビュー15 周年を迎え、今の音を込めたアルバム「カバー・オブ・カバー」「ザ・セットリスト」の 2 作を同時リリース。

✿松浦 梨沙（ヴァイオリン）

５歳よりヴァイオリンを始める。第６回大阪国際音楽コンクール第３位など、数々のコンクールに入賞。京都市立芸術大学音楽学部卒業。確かな技術に裏付けられた鮮やかな表現力でユニットをリードし、キレとメリハリのある音楽性を創出する。ロックの魂をヴァイオリンに託す稀代の名手として、ポピュラー音楽のクラシカル・カバーの最前線を切り開く。

✿花井 悠希（ヴァイオリン）

３歳よりヴァイオリンを始める。
2010 年 4 月、日本コロムビアより CD デビュー／デビューリサイタル。
3 枚のアルバムとフォトブック「ばよりん彼女」をリリースし、フジテレビ系「FNS 歌謡祭」「MUSIC FAIR」ゲスト出演や「新堂本兄弟」レギュラー出演、NHK「スコラ 坂本龍一音楽の学校」では坂本龍一氏と共演するなど、クラシックのみならずポップスのアーティストとのコラボレーションなど幅広いスタイルで演奏活動を続けている。

✿伊藤 利英子（チェロ）

イギリス、ロンドンにて生まれ、福島県福島市で育つ。8 歳よりチェロを始める。
第 22 回全日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。東京音楽大学卒業。大学在学中にバイエルン州立青少年オーケストラに参加。また、ルイス・クラレットマスタークラスを受講。2020 年より 1966 カルテットのメンバー。柔軟なセンスでアンサンブルを巧みに操り、ユニットに新しいサウンドを生み出す。

✿増田 みのり（ピアノ）

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。在学中継続して特待生奨学金を受ける。ニューヨークのマネス音楽院修士課程修了。明治安田クオリティオブライフ文化財団音楽学生奨学生。2018 年より 1966 カルテットのメンバー。ロックからクラシックまで変幻自在のグルーヴでカルテットを支えつつ、ソロの場面では大らかで豊かな歌で聴き手に感動をもたらす。